



## 天使大学 三方針

### 【大学全体】

#### 1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

天使大学は、カトリック精神に基づき、全人教育を目指し、広く豊かな教養教育と看護及び栄養に関する専門の教育研究を行い、建学の精神である「愛をとおして真理へ」のもと、知的および応用的能力を発揮し、社会の発展に寄与する人材を育成するために、以下の学生を受入れています。

- 1) 人間愛をもって、人の役に立つことを生涯の仕事としたい人
- 2) 看護師、保健師、助産師、管理栄養士、栄養教諭の職に就くことを希望する人
- 3) 常に新しい知識と優れた技術を求め、自ら考え、学習する意欲を備えた人
- 4) 人とのコミュニケーションを大切にし、あたたかい心をもって対話ができる人
- 5) 物事を忍耐強く推し進めていく行動力、責任感のある人

#### 2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人々の健康の回復と保持・増進、疾病予防、あるいは人間生活の援助を目的に、「建学の精神」及び「健康」と「生活」という共通概念を基盤にして、熟達した技術と幅広い教養を身につけた人間性豊かな専門職者ならびに高度専門職業人を育成するために、各教養・専門教育科目からなる博士課程、修士課程、専門職学位課程、学士課程を編成しています。

#### 3. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

天使大学は、教育課程編成・実施の方針に基づいた博士課程、修士課程、学士課程において、大学院看護栄養学研究科看護学専攻修士課程34単位以上、栄養管理学専攻博士前期課程30単位以上、栄養管理学専攻博士後期課程18単位以上、大学院助産研究科助産専攻56単位以上、看護栄養学部看護学科130単位以上（教養教育科目28単位以上、専門教育科目102単位以上）、栄養学科128単位以上（教養教育科目28単位以上、専門教育科目100単位以上）修得など、規程にある要件を満たした学生に対して「博士」、「修士」、「修士（専門職）」、「学士」の学位を授与します。



## 【看護学科および栄養学科】

### 1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）〔両学科共通〕

看護学科および栄養学科では、キリスト教的人間観を基本とし、建学の精神「愛をとおして真理へ」のもと、全ての人々に対して平等に貢献する看護と栄養の専門職者の育成を目指すために、以下の学生を受け入れています。

- 1) 本学の教育理念に関心を持ち、本学での学習に意欲と熱意をもっている人
- 2) 看護師・保健師・助産師・管理栄養士・栄養士・栄養教諭の職業を通して、人の役に立ちたいと思っている人
- 3) 人間、いのち、健康、生活に対して関心をもち、学習の基礎的能力をもっている人
- 4) 他者に関心をもち、豊かな人間性とあたたかい心で人との対話ができる人
- 5) 基本的な生活習慣が身に付いていて、自分自身の健康管理ができる人
- 6) 自ら考え学習する意欲をもち、問題状況を的確に把握し、その解決に向けて主体的に行動がとれる人

### 2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### 1) 看護学科

看護学科は、キリスト教的人間観に基づく、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復あるいは平和な死への生活の援助を自律して実践できる専門職者を育成するために、以下の教育目標を掲げ、これを達成するためのカリキュラムを編成しています。

- (1) 建学の精神の具現化を意図し、人間を全人的に理解する能力を養う。
- (2) 人間の環境の相互作用による健康状態を理解し、健康の保持・増進・回復あるいは平和な死に向けて環境に働きかけるための基盤となる知識を修得する。
- (3) さまざまな健康レベルにある個人・家族・集団および地域の人々に対して、科学的・系統的にケアリングを基盤とした看護を実践する能力を養う。
- (4) 保健医療福祉行政の基本的知識を踏まえ、保健医療福祉システムの中で、看護の役割と機能を理解し、他職種と協働・連携できる能力を養う。
- (5) グループワークを導入した演習を通して、リーダーシップ・メンバーシップを発揮する。
- (6) 看護職者として論理的に思考し、創造的、継続的に看護を探究する能力を養う。
- (7) 人間愛に基づき国際社会の動向に関心を持ち、看護職者の役割を探究できる能力を養う。
- (8) 問題意識を持ち、批判的、科学的に思考し、主体的に学習する能力を養う。
- (9) 人間愛に基づき専門職者として国際社会に貢献する能力を養う。



## 2) 栄養学科

栄養学科は、キリスト教的人間観に基づく、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復に向けて、栄養学を基盤とし、食を通して生活へのサポートを自律して実践できる人間性豊かな専門職者を育成するために、以下の教育目標を掲げ、これを達成するためのカリキュラムを編成しています。

- (1) キリスト教的人間観により人間を全人的に理解する能力を養う
- (2) 人間を取り巻く「食」を科学的視点から幅広く理解する能力を養う
- (3) 人間栄養学の専門的知識と技術を修得し、人々に貢献する能力を養う
- (4) 人間と環境の相互作用を理解し、対応できる能力を養う
- (5) 社会システムを理解し、社会の変化に柔軟に対応できる能力を養う
- (6) 課題を探求し、判断し、意思決定ができる能力を養う。
- (7) 保健医療福祉システムの中で円滑な人間関係を築き、他の専門職者と協力して、目標に向け推進する能力を養う
- (8) 人間愛に基づき専門職者として国際社会に貢献する能力を養う

## 3) 教養教育科

教養教育科では、建学の精神に基づき、人間として普遍的価値観を養い、グローバル化、情報化、少子高齢化などの社会変化に対応できる能力を身につけ、それぞれの学科で学ぶ高度な知識や技術を統合・発展させ、広く社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下の目標を掲げ、これを達成するための教育課程を編成します。

- (1) 実践科学としての看護、栄養に必要な思考力や高度な知識と技術を持った実践家を育成する専門科目の基礎となる知識や技術を修得させる。
- (2) キリスト教に関する知識を授けると共に、教育理念に基づく価値観を形成し、真理を探究する人材を育成する。
- (3) グローバル化、情報化、少子高齢化などの社会変化に対応しながら地域社会に貢献できる基礎的な能力を養う。
- (4) 看護学科および栄養学科の共通概念である健康と生活について、幅広い分野の知識を活用して思考するための基礎的な能力を養う。
- (5) 様々な学問分野の知識に基づいて多面的に人間を理解できる能力を養う。



### 3. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 1) 看護学科

看護学科は、キリスト教的人間観に基づいて、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復あるいは平和な死への生活の援助を自律して実践できる人間性豊かな専門職者として、以下の能力を身に付け、大学学則に基づく授業科目及び単位数の修得など規定にある要件を満たした学生に対して「学士」（看護学）を授与します。

- (1) キリスト教的人間観により人間を全人的に理解する能力
- (2) 人間のスピリチュアリティと生命の尊厳に対する内省性と他者にかかれた豊かな人間性を育む能力
- (3) 看護職者として対象人権と倫理を尊重し、看護の役割、責任を果たす能力
- (4) 人間と環境の相互作用によって生じる多様な健康状態を理解し、環境に働きかける能力
- (5) 人間の環境としての政治的・経済的・文化的な社会システムを理解し、環境に働きかける能力
- (6) さまざまな健康レベルにある個人・家族・集団・地域の人々に健康の保持・増進・回復あるいは平和的な死に向けて支援する能力
- (7) 保健医療福祉システムの中で円滑な人間関係を築き、他の専門職者と協力して、目標に向け推進する能力
- (8) 問題意識を持ち、批判的、科学的に思考し、主体的に学習する能力
- (9) 人間愛に基づき専門職者として国際社会に貢献する能力

#### 2) 栄養学科

栄養学科は、キリスト教的人間観に基づいて、人々の健康生活の保持・増進、健康の回復に向けて、栄養学を基盤とし、食を通して生活へのサポートを自律して実践できる人間性豊かな専門職者として、以下の能力を身に付け、大学学則に基づく授業科目及び単位数の修得など規定にある要件を満たした学生に対して「学士」（栄養学）を授与します

- (1) キリスト教的人間観により人間を全人的に理解する能力
- (2) 人間を取り巻く「食」を科学的視点から幅広く理解する能力
- (3) 人間栄養学の専門的知識と技術を修得し、人々に貢献する能力
- (4) 人間と環境の相互作用を理解し、対応できる能力
- (5) 社会システムを理解し、社会の変化に柔軟に対応できる能力
- (6) 課題を探究し、判断し、意思決定ができる能力
- (7) 保健医療福祉システムの中で円滑な人間関係を築き、他の専門職者と協力して、目標に向け推進する能力
- (8) 人間愛に基づき専門職者として国際社会に貢献する能力